

# 漁海況情報

2019年(平成31年)2月 第555号

沖縄県水産海洋技術センター  
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528  
電話：098-852-4530・4531 FAX：098-852-4533

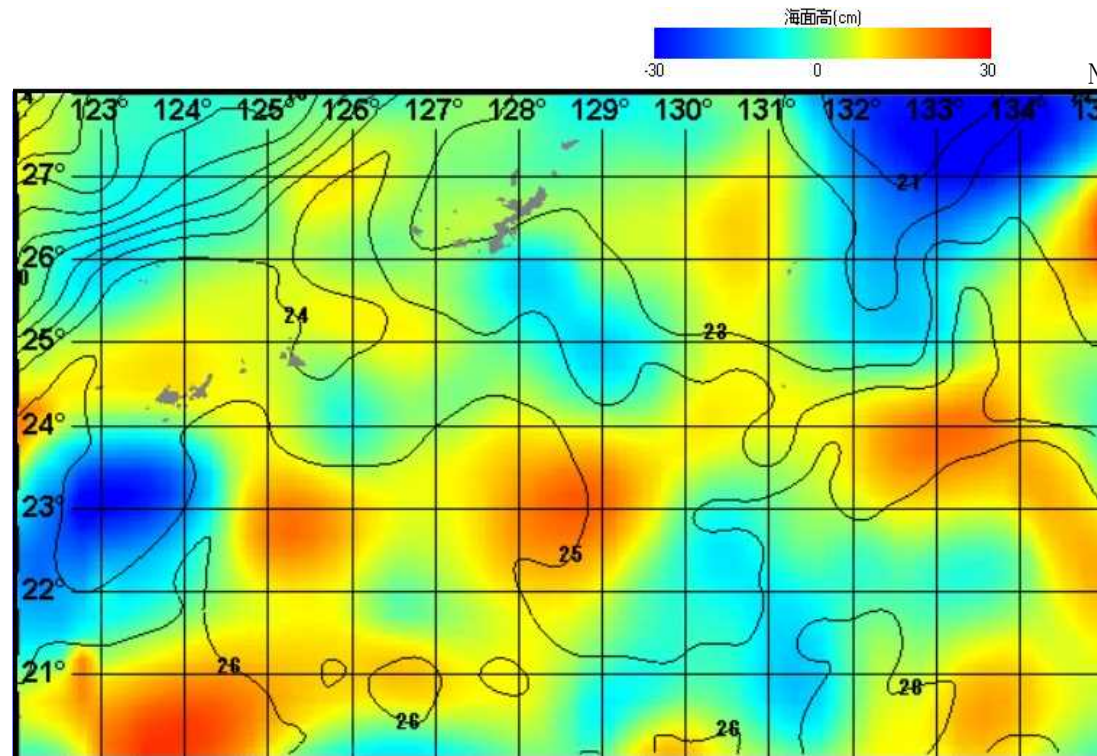


図1. 海況案内人による表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2019年2月28日)

海況案内人の最新情報は下記URLで行っています。  
URL:<http://www.pref.okinawa.jp/fish/>  
携帯電話からのアクセスは右のQRコードを利用してください。

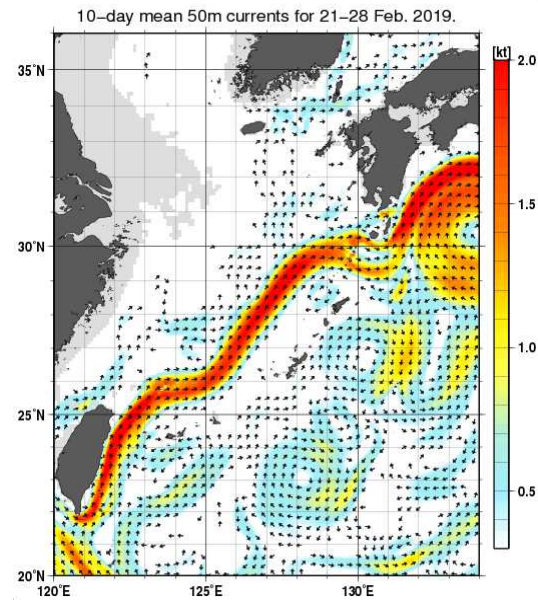
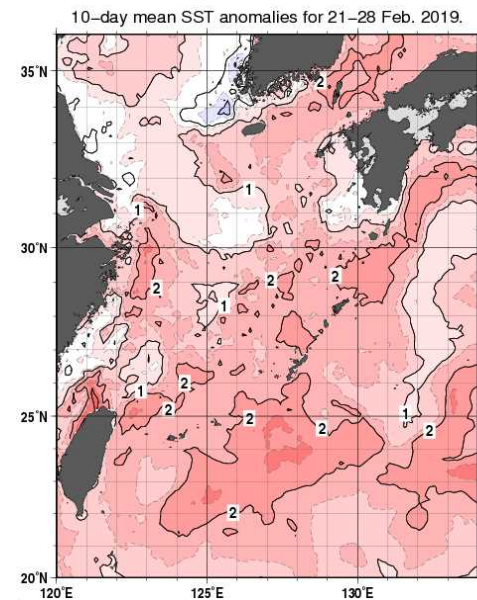


図2. 2019年2月下旬海面水温偏差図(左)及び海流図(気象庁HPより)

## 漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域はキハダ、シビ、シイラの水揚げが多かった。

表1. 2月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	0.7	0.4	0.2	0.1	1.4	0.5	4.4
クマガキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
沖サワラ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6
カツオ	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	1.6	2.9
キハダ	27.1	10.1	0.0	0.0	37.1	8.3	180.0
シビ	3.5	4.1	0.7	0.9	9.2	13.7	67.0
メバチ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	31.3	14.6	0.9	1.1	47.9	24.3	255.0

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

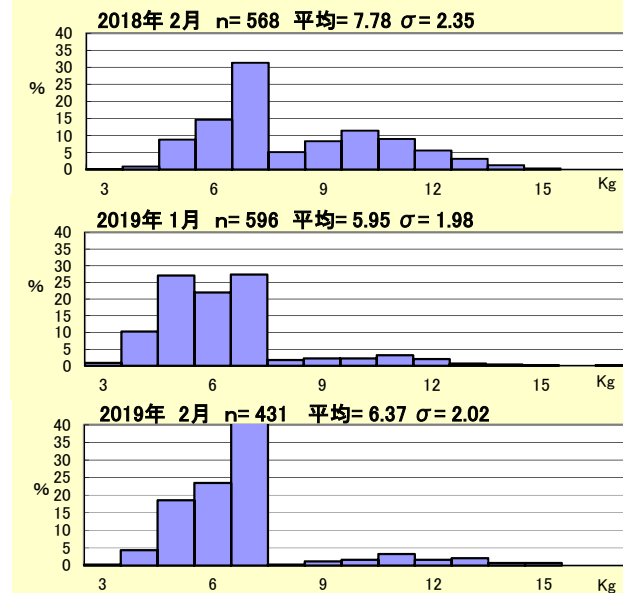


図3. 糸満漁協のソデイカ重量(壺抜き)の頻度分布  
nはデータ数：集計したソデイカの匹数  
σは標準偏差：ソデイカの大きさにばらつきがあるほど数値が大きいく

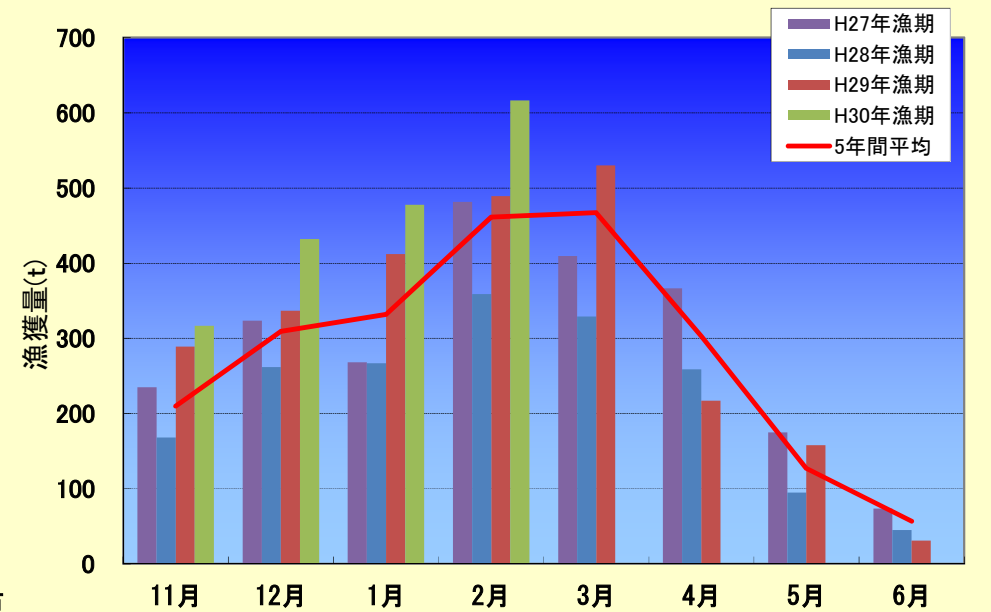
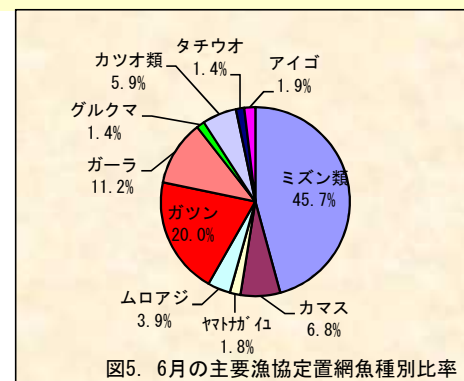


図4. ソデイカ月別漁獲量の推移

図3は重量から作成した頻度分布である。図4は県内のソデイカ漁獲量の推移と過去5カ年の平均を示す。2月に糸満漁協で水揚げされたソデイカの平均重量は6.37kgで、昨年より1.41kg小さく、先月より0.42kg大きかった。一方2月のソデイカ漁獲量は617tで、昨年の2月(489t)よりも26%程度多く、過去5年間の平均漁獲量よりも21%程多い水揚げとなった。(図4)



定置網：2月の県内の漁獲状況は2,574.3kgで先月(7,181.6kg)と比べ減少した。主要漁協の漁獲ではミズン類、ガソン、ガーラで約8割を占めた。(表2、図5)

表2. 1月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	国頭	名護	勝連	与那城		
ミズン類	69.9	0	344.1	592.7	0	166	1,172.7	1,172.7
カマス	42.4	11.6	82.4	38	0	0	174.4	179.1
ヤマトガハ	46.9	0	0	0	0	0	46.9	46.9
ムロアジ	31.7	0	68.4	0	0	0	100.1	100.1
ガソン	422.5	45.6	44.9	0.6	0	0	513.6	514.1
ガーラ	154.6	66.2	59.8	4.6	0	1	286.2	287.4
グルクマ	21.1	5.8	1.6	0.7	0	6.4	35.6	35.6
カツオ類	27.1	32.2	91.5	0	0	0	150.8	150.8
タチウオ	18.5	16.8	0	1	0	0	36.3	37.4
アイゴ	0	33.8	0	12.8	0	1.3	47.9	50.2
合計	834.7	212.0	692.7	650.4	0.0	174.7	2,564.5	2,574.3

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

----- 注記：統計数値は、小数点第二位以下を四捨五入したため、計と内訳が一致しない場合があります。 -----



ヒメダイ(クルキンマチ)

糸満ではキハダが27.1t漁獲された。港川ではキハダが10.1t、シビが4.1t漁獲された。知念ではシビが0.7t、シイラが0.2t漁獲された。沖縄市ではシビが0.9t漁獲された。伊良部ではシビが13.7t、キハダが8.3t漁獲された。(表1)